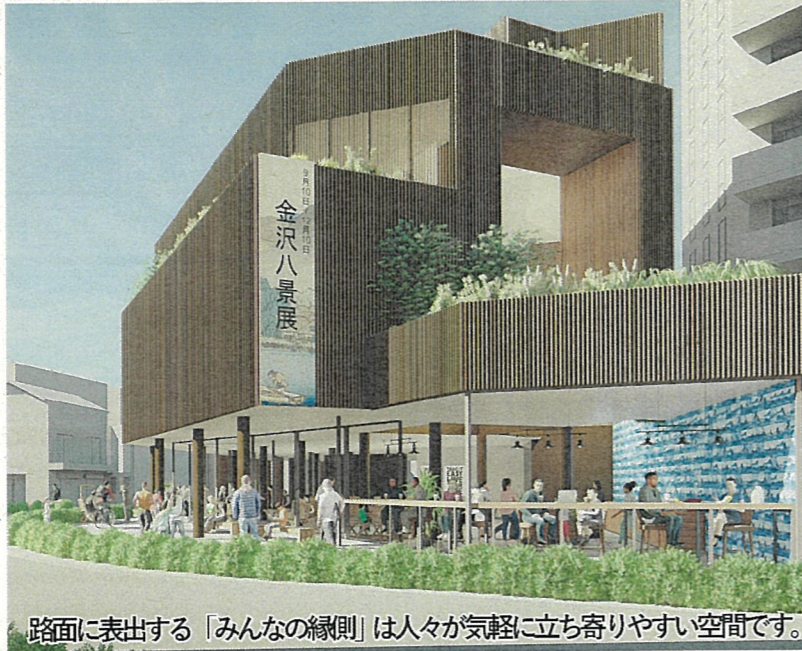


木質系縦格子と八景を望む開口（八窓）による、金沢八景のアイデンティティを大切にしたい金沢区民文化センター

市民の活動と地域の風景を結びつけて誰もが訪れやすい建築です。

ここ金沢八景には、その土地の魅力が四季、天気、時間の移ろいごとに鑑賞する感性が生きています。そこで、「晩鐘」「帰帆」「秋月」「落雁」「夕照」「暮雪」「夜雨」「晴嵐」の8つを感じることで、印象的な窓とテラスを8つ設けます。豊かな自然を鑑賞し、今ある風景を大切にしたい市民を育てる建築とします。

- 「晩鐘」今も鐘が鳴る称名寺に向けた北西の窓
- 「帰帆」海を見ることのできる4F南東の窓
- 「秋月」瀬戸神社の森から月が昇るの見える3F南東の窓
- 「落雁」夕方になると高度を下げる落雁を眺める窓
- 「夕照」美しい日没を楽しめる3Fホール
- 「暮雪」雪を眺めることのできる縦長い2,3F吹抜けの大開口の南窓
- 「夜雨」軒下の庭で雨やどり可能な1Fエントランスの窓
- 「晴嵐」権現山に咲く山嵐と雲や霧を望むテラスと窓



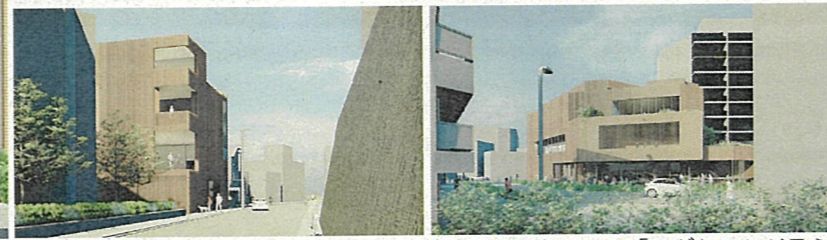
路面に表出する「みななの縁側」は人々が気軽に立ち寄りやすい空間です。

評価項目(1) ア街に開かれたデザインとして気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの考え方
街に開く建築&金沢八景 VIEW

■A・B・C・とDへの「にぎわい」を表出させる大開口とテラスを設ける



A 駅周辺からはホワイエでの利用者の活動が目視できる計画とし、人々を誘引します。
B 泥亀公園通りからはギャラリーの展示会の様子が見え、芸術が街に創出し、芸術の金沢区とします。

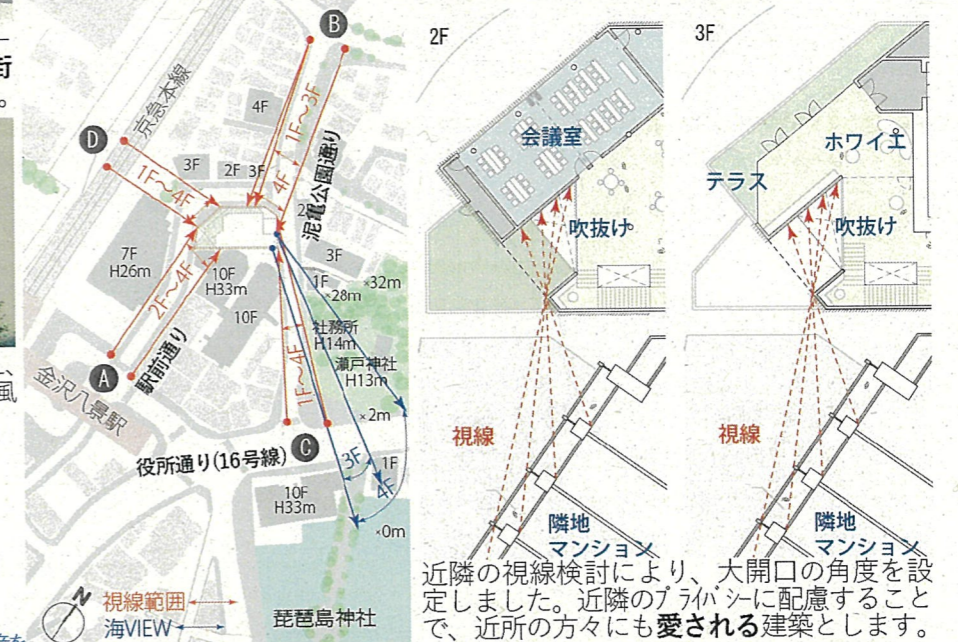


C 歌川広重が金沢八景の風景の一つとして描いた、瀬戸秋月の中に、瀬戸から見た野島の風景を捉える窓です。
D 電車の中からも「にぎわい」が見え、金沢八景駅の木質縦格子と呼応した風景を連続させます



ここ金沢八景には、その土地の魅力が四季、天気、時間の移ろいごとに鑑賞する感性が生きています。そこで、「晩鐘」「帰帆」「秋月」「落雁」「夕照」「暮雪」「夜雨」「晴嵐」の8つを感じることで、印象的な窓とテラスを8つ設けます。豊かな自然を鑑賞し、今ある風景を大切にしたい市民を育てる建築とします。

※近隣マンションからの視線検討



近隣の視線検討により、大開口の角度を設定しました。近隣のプランに配慮することで、近所の方々にも愛される建築とします。

評価項目(2) ア 利用者が使いやすい施設としての考え方
評価項目(2) イ 管理者が管理しやすい施設としての考え方
評価項目(2) ウ 1階の機能配置や設えに十分に配慮した施設としての考え方

ア 利用者の利便性・快適性
イ 管理者の管理しやすさ
ウ 1階の機能・設え

誰にとっても利用しやすい計画 3要素 (ア・イ・ウ)

1階

八窓 大きな軒下空間では雨宿りをして、美しい雨を眺めたり、日差しを避けることができます
「みななの縁側」は大庇下空間で憩いの場となります

可動式ガラス建具とし、イベント時にはまちかど広場と内外一体的利用が可能
利用者とコミュニケーションしやすい受付

駅から視認性がありアクセスしやすいエントランス
建物全体、駐車場まで視認できる事務室

小規模イベントなどでの活用を想定した広いエントランス
車椅子用駐車場とサブエントランスを近接でバリアフリー化

まちに「にぎわい」を見せることで人を誘引します
情報コーナー

学生さん達のスタディスペースやワークショップ等が可能なスペース
誰でも自由に使えるアイランドキッチン料理教室やレジャーで利用可能

巨大展示が可能なコミュニケーションが促進する吹抜
滞り性を持った広いホワイエ空間とラウンジはホールを使ってない時でも利用できる、快適な空間

八窓 夕照の窓 催しが行われる時刻にはふさわしいロマンチックな空間です。

八窓 暮雪の窓 3層吹抜の大開口によって、雪を眺めることができます

八窓 晴嵐の窓 権現山に咲く山嵐と雲や霧を望むテラスと窓

八窓 帰帆の窓 海を眺めることのできる

八窓 落雁の窓 夕方になると高度を下げる落雁を眺める窓

八窓 晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

2階
壁を利用して、第3の展示室にもなり、壁にはアートが展示が可能
北側からの拡散光の下、自然光だけでアートを鑑賞する人々が路上から見て、まちに活気を創出

様々なワークショップに対応できる中央型のホール
様々な展示ルートに対応可能

行きと帰りの動線を分けることができ、ギャラリー1は暗室化して、映像展示にも対応

八窓 瀬戸の秋月の窓 瀬戸神社の森から月が昇るのを見る

八窓 暮雪の窓 3層吹抜の大開口によって、雪を眺めることができます

八窓 晴嵐の窓 権現山に咲く山嵐と雲や霧を望むテラスと窓

八窓 帰帆の窓 海を眺めることのできる

八窓 落雁の窓 夕方になると高度を下げる落雁を眺める窓

八窓 晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

八窓 称名晩鐘の窓 今も鐘が鳴る称名寺の鐘の音を聞くことができます

評価項目(1) イ 金沢駅周辺のデザインガイドラインに則した、金沢らしさを残した魅力的な外観の提案
金沢区唯一無二の歴史を取り込んだ建築

■金沢区の自然豊かな周辺環境との連続



人と自然の距離が近い金沢八景らしく、利用者が出入りできる屋上テラスを緑化します。瀬戸神社や金沢八景権現山公園の緑のネットワークに寄与します。

■ガラスファイトにより気軽に立ち寄れる



中の活動の様子が見える大開口を壁から切り取り、ガラスファイトを設えます。また、1階の「みななの縁側」空間は一人でも気兼ねなく利用できる雰囲気を作り、コミュニティを形成します。

■開口からあふれる金沢区浮世絵タイル



金沢八景の由来ともなる、8つの浮世絵をタイルに青焼きしランダムに設え、平瀨湾のような青さが外観にも創出し、アクセントになります。

3階

八窓 夕照の窓 催しが行われる時刻にはふさわしいロマンチックな空間です。

八窓 暮雪の窓 3層吹抜の大開口によって、雪を眺めることができます

4階

八窓 晴嵐の窓 権現山に咲く山嵐と雲や霧を望むテラスと窓

八窓 帰帆の窓 海を眺めることのできる



1階	431.8 m ²
2階	636.7 m ²
3階	510.2 m ²
4階	260.4 m ²
合計	1839.1 m ²

まちとつながるなパッシブデザインの文化施設

評価項目(3)ア 「横浜市建築物における木材の利用促進に関する方針」を踏まえ、施設の特徴を考慮した、効果的な木材の活用方法などの提案

地域産木材資源を有効活用した木の温もり溢れる文化施設

木材使用料 0.008(m²/m²)以上を目指し、天井材や音楽多目的室の音響対策ルーバーや家具、備品、調度品など地域産木材資源を有効活用した木の温もり溢れる文化施設とします。



評価項目(3)イ 省エネルギー化や再生エネルギー等の導入など環境負荷低減策についての提案

横浜市ならではの基準に即した環境にやさしい、快適で安全な施設

下記の4本柱による適切な環境負荷低減技術により、横浜市CASBEE Aランク、60%以上の1次エネルギー削減を行い、環境にやさしい、快適で安全な施設計画とします。

①建築物の省エネルギー性能

断熱性能強化・高性能ガラスや放射空調・屋光利用制御等、窓面後退により、夏は日射抑制・冬は日差しを取込むことで、エネルギーの消費の削減を推進します。

②健康・快適な職住環境

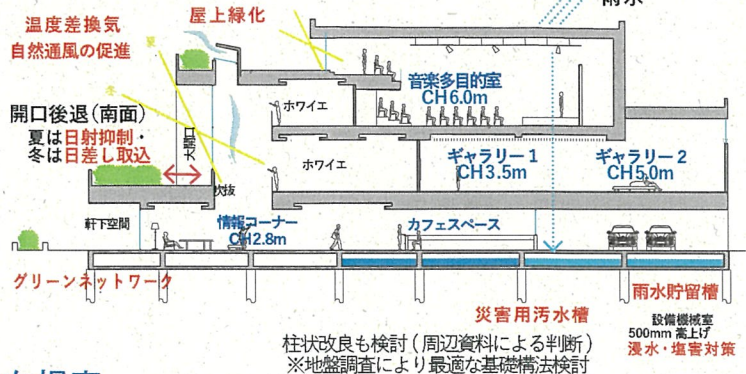
「エコヴォイド」の上部に自然換気窓を設け温度差換気による自然通風を促進した快適な環境とし、エントランスホール・2,3階ホワイエを駅周辺から見渡せる南側に設けることで、まちと一体となった交流の促進を図ります。

③防災への配慮

受変電設備機器は浸水範囲(0~500mm)を考慮して、最低500mm高上げします。雨水貯留槽、災害用汚水槽により、万一の災害時に備えます。

④地域・まちづくりへの貢献

1階には軒下空洞を設け、だれでも立ち寄りやすくまちに開かれた施設とします。各通りに開口を大きく確保することで、夜道を照らし、近隣に安全性をもたらします。屋上緑化により、連続するグリーンネットワークとすることで、自然豊かな街を実現します。



評価項目(4)(1)(2)(3)を踏まえた、コスト削減の考え方についての提案

建設/維持管理コスト管理における合理的な提案

評価項目(4)ア 予定工事費内に納めるイニシャルコスト削減の考え方

空間のフレキシビリティを確保した、コスト優先の構造スペック

ギャラリーや音楽多目的室などの平面計画の自由度を高め、構造的な安定性の高いシンプルなラーメン構造とし、他の構造形式に比べて品質、工期縮減によるコストパフォーマンスが高い鉄骨造を採用します。

評価項目(4)イ ライフサイクルコストの削減に向けた具体的方策

ローメンテナンス化によるランニングコスト削減

■維持管理の容易な植栽計画

成長の遅い常緑樹の選定、保水性の高い土壌の採用、雨水を利用した自動灌水設備の導入などにより、植栽の維持管理の負担の少ない計画とします。

■更新の容易な計画

配管距離の短縮、点検しやすい集約型設備スペースなど更新の容易な計画とします。また、受変電設備電気室を設け塩害対策を行う等、設備機器の長寿命化に配慮します。

評価項目(5)業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

高度なメンバーシップによる対話型のプロセスで臨機応変、柔軟な対応

評価項目(5)ア 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制

窓口の一元化と共同実績のあるチームによるスムーズな情報共有

窓口を設計チームに一元化することで、金沢区ご担当者様との情報共有を円滑にします。また、これまでにも協働経験のあるメンバー構成とし、様々な要望に対して、臨機応変に対応します。

評価項目(5)イ 報告書及び図面等の成果物の品質向上を図るための方法

オンラインプラットフォームにより進捗状況の見える化

施設づくりのオンラインプラットフォームをつくり、会議の議事録や図面、工事の進捗状況を「見える化」することで、多角的に検討が可能な体制づくりを、関係者各位が責任をもって業務に取り組み品質向上を図ります。

評価項目(5)ウ 積算数値の拾い忘れや過算を防止し、精度向上を図るための方法

節目毎の概算・積算による確実なコストコントロール

概算・積算を「施設規模等決定時」、「基本設計方針確定時」、「実施設計完了時」の計3回行い、必要な仕様調整を可視化し、計画にフィードバックすることで、事業計画の確実性を確認しながら円滑に設計が進む様に管理します。

評価項目(5)エ スケジュールの組立て方や管理方法、設計・工事監理体制などの業務の進め方

対話を重視した定例会議・分科会

基本設計・実施設計では定例会議を隔週で行い、着工後は週1回のペースで監理者・各工事主担当を含めた定例会議・分科会を開催し、更に、オンラインツール等の併用により、タイムリーな情報共有することで、事業の遅延を防ぎます。

